

ふれあい

ボランティアだより合併号

No. 128

令和7年2月

発行所

社会福祉法人

太子町社会福祉協議会

〒583-0991

大阪府南河内郡太子町春日963-1

太子町立総合福祉センター内

TEL 0721-98-1311

FAX 0721-98-2111

<http://www.taishi-syakyo.net>



～雌岳から令和7年元旦に撮影～

～.～.～. 新年のごあいさつ .～.～.～



社会福祉法人
太子町社会福祉協議会

会長 土井 武久

皆様におかれましては、令和7年の輝かしい新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は本会に対しまして温かいご支援、ご協力を賜りまして心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、元旦に発生しました能登半島地震及び9月の奥能登豪雨災害により被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。本会からも大阪府社会福祉協議会からの要請を受け、石川県志賀町及び七尾市の災害ボランティアセンターの運営支援者として職員3名を派遣するほか、軽トラックの長期貸出し、近隣社協と合同でのボランティアワゴンの運行による被災地支援活動も5回行ってきました。

今年は平成7年に発生した阪神・淡路大震災から30年の節目の年でもあり、近い将来必ず発生すると言われる南海トラフ地震にも備える必要があり、被害を最小限にするためには、一人一人の日頃からの備えや隣近所の助け合いが非常に大切となっております。

さて、今年はいよいよ大阪・関西万博が4月に開催さ

れますが、景気は昨年引き続き物価高騰により、本町でも生活に困窮する人が増え、少子高齢化が一段と進み、ひとり暮らし世帯の増加、雇用形態の変化などから家族や地域での生活様式が変化し、地域社会のつながりが希薄化するなど、私たちの生活課題が更に複雑・多様化する中、住民が抱える困難な問題をワンストップで受け止める「包括的な支援体制」の整備を進めております。これらの多様な福祉課題に対応していくには、日頃からのネットワークづくりが重要となり、誰もが地域社会の一員として生き生きと自立した生活を送ることが出来るよう、ともに協力し、ともに生きる地域社会である「地域共生社会の実現」の取り組みを更に推し進める必要があります。その為にも町行政をはじめ、各地区福祉委員会、ボランティア団体、各福祉団体、福祉施設等の関係機関とも連携を密にし、役職員が一丸となって、これからの地域福祉活動や各種福祉サービスの充実強化に努めて事業展開していきたいと思っておりますので、本年も引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆さまにとりまして今年一年が明るく希望に満ちた素晴らしい一年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

令和7年の新年を迎えて



太子町長
田中 祐二

皆さんにおかれましては、令和7年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は元日の能登半島地震等災害の多い一年となりました。改めて災害に対する備えの重要性を認識したところです。本町においても災害用の備蓄品の見直し、新たな防災協定の締結等を行いながら、安心・安全のまちづくりに取り組んでおります。また昨年の4月からは大阪南消防局を立ち上げ広域消防をスタートして消防力の強化も図りました。そして昨年には“たいしのってこバス”を従来のマイクロバス車両から新しく小型低床化車両にリニューアルさせて頂き、利用者さんの利便性の向上に努めました。これから高齢化社会を迎えるにあたり、住民の

皆さんの移動手段としてその重要性はますます高まると思います。多くの人に乗ってもらってこのバスを育てて頂きますようお願い致します。

さて今年はいよいよ4月13日から約半年間にわたり大阪・関西万博が開催されます。徐々に各パビリオンの出展内容も明らかになってきており、前回子どもの時に未来を想像しワクワクした経験が蘇ってきました。大阪の経済また太子町のPRのためにも必ず成功させなければならないと思っております。本町が誇る“舟型だんじり”も既に出展が決まっております。「来る人には楽しみを帰る人には喜びを」の気持ちで国内外の多くの人をお迎えできればと思っておりますので、皆さんのご協力をお願い致します。

結びとしまして、太子町社会福祉協議会の益々のご発展と本年が皆さんにとりまして幸多き年となりますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

にちじょうせいかつじりつしえんじぎょう

日常生活自立支援事業 ～あなたの暮らしを守るサービスです～

(旧：地域福祉権利擁護事業)

日常生活自立支援事業というむずかしい名前ですが、認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な方が、地域で自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用手続きの援助や代行、日常的な金銭管理などの支援を社会福祉協議会が行います。

- 福祉のサービスが利用できない（福祉サービス利用に必要な手続きを行います）

- お金のやりとりに自信がない（福祉サービスの利用料を支払う手続きを行ったり、年金の振込みを確認したりします）
- 通帳の管理が心配（通帳や大切な書類をお預かりします）

詳しいことは、
太子町社会福祉協議会事務局
(☎98-1311) までお気軽に
お問い合わせください。



車イス移動車『ふれあい号』貸し出し事業を実施しています (利用料無料)

太子町社協では、歩行が困難な高齢者・障がい者の方々に『ふれあい号』車イス移動車（軽自動車）の貸し出しを行っています。

対象者 太子町に居住されていて、車イスを利用している為一般乗用車への移乗が困難な方

利用回数 1回につき3日まで（1ヶ月に2回まで）

申し込み 車両の空き状況を確認のうえ、貸出申請書に以下の書類を添付し利用の前日までに社協事務局までお申し込みください。

(添付書類) ①利用者（車イスを利用されている方）の現住所が確認できる書類の写し

②運転される方の運転免許証の写し

その他 運転者は、利用者の方で、3年以上の運転経験をお持ちの方とさせていただきます。



※詳しくは、太子町社会福祉協議会事務局（☎98-1311）まで、お気軽にお問い合わせ下さい。

赤い羽根共同募金へのご協力

ありがとうございました。

～ 令和6年度 赤い羽根共同募金実績報告 ～

令和6年10月1日より皆様にご協力いただきました“赤い羽根共同募金”はおかげさまで下記の通りの募金を集めることができました。集まりました募金は、全額大阪府共同募金会へ送金させていただき、令和7年度に社会福祉協議会をはじめとした、府内の民間社会福祉事業に配分されます。

令和6年度 赤い羽根共同募金実績一覧

(単位：円)

町名	金額	町名	金額	町名	金額	町名	金額	種別	金額
向少路	22,000	新屋敷	10,250	栄町	10,000	東條	27,000	戸別募金計	733,950
中大道	20,000	西仲町	18,000	太子ヶ丘	30,000	永田	20,000	学校募金計	52,698
内之町	11,500	東町	13,500	磯長台	37,200	西	10,000	職域募金計	75,382
西之口	19,500	上之町	19,500	春日丘	8,500	佃	18,000	募金箱計	25,218
昭和町	28,000	分田町	9,000	第3太子ヶ丘	10,000	下之町	9,500	バッジ募金計	28,500
新昭和町	18,000	旭町	11,000	緑ヶ丘	12,500	いわき台	20,000		
伽山	21,500	平和町	22,500	陵西台	10,000	畑	15,500		
太陽ヶ丘	27,500	北町	12,000	中山台	7,500	若葉	9,000		
太井川町	15,000	北仲町	9,500	聖和台連合会	30,000	葵	6,500		
桜川自治会	13,000	寿町	11,500	大 道	20,000	篤志家芳名	金額		
葉 室	33,000	赤坂町	11,000	後 屋	41,000	伊庭登美子	5,000		
								総合計	915,748

※募金箱設置協力先 (順不同・敬称略)

太子町役場 福祉介護課・太子町立保健センター・生涯学習センター 太子の森・JA 大阪南太子支店・JA 大阪南宮農経済センター・JA 大阪南宮農経済部営農指導課・太子町竹内街道交流館・磯長郵便局・道の駅 近つ飛鳥の里 太子・太子町立総合福祉センター・Café de CHA-CHA・サンプラザ太子店・カインズ太子店・(有)好月堂・YOLO kimchi café

社協へのご支援ありがとうございます

令和6年9月～12月までの間に、社協へご寄付いただきました皆様

(単位：円)

寄付者芳名	金額	寄付者芳名	金額	寄付者芳名	金額
匿名	5,000	上の太子みかん園	10,000	松田久弥	10,000
五十川浩治	10,000	上田長一	20,000	田中春樹	10,000
匿名	5,000	北川玲子	10,000	米田勝紀	10,000
三浦孝朗	10,000	市橋剛	10,000	角田健	10,000
椿元成佳	10,000	五十川武邦	10,000	角田勝紀	10,000

(順不同・敬称略)

(単位：円)

社協賛助会費へのご協力ありがとうございます 広報「ふれあい」No.127発行以降にいただいた一般賛助会費	町会名	金額
	太子ヶ丘	55,500
	四季の街	19,500

太子町共同募金会からのお知らせ

地域歳末たすけあい運動へのご協力ありがとうございました ～ 令和6年度 “地域歳末たすけあい運動” 実績報告 ～

昨年12月1日より実施いたしました“地域歳末たすけあい運動”に温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

ご協力いただきました募金により実施しました“地域歳末たすけあい運動配分事業”は下記のとおり、町内福祉施設や各福祉団体への配分のほか、車いす移動車『ふれあい号』の維持費用、いきいきサロンや高齢者交流サロンへの支援、生活困窮者への支援などの歳末地域福祉推進運動へ配分させていただきました。

次年度繰越金については、全額大阪府共同募金会へ送金させていただき、次年度に配分を受け地域福祉活動や防災関係事業費等に充当させていただきます。



〔募金内訳〕		〔配分内訳〕			
戸別募金	941,400円	町内福祉施設へ	208,284円	歳末地域福祉推進活動	1,096,001円
篤志募金	723,595円	保育園児・幼稚園児へのプレゼント	48,384円	生活困窮者への支援	55,871円
太子・葉室地区	135,000円	施設入所者等へのお見舞品	159,900円	いきいきサロンへの支援	240,000円
春日・聖和台地区	201,000円	福祉団体等へ	230,000円	歳末友愛訪問活動	55,000円
山田・畑地区	125,000円	身体障害者福祉協議会	50,000円	高齢者交流サロンへの支援	110,000円
団体その他	188,961円	母子寡婦福祉会	50,000円	ボランティアセンターへの支援	150,000円
太子町外	60,000円	手をつなぐ親の会	50,000円	車イス移動車貸出事業	344,960円
募金箱	13,634円	和光会	50,000円	太子町高齢者介護者家族つどの支援	10,000円
		献血推進協議会	30,000円	太子町中途障がい者の会への支援	10,000円
				障がい児者当事者会への支援	60,000円
				地域活性化事業	60,170円
				歳末たすけあい運動経費	26,118円
				次年度配分事業への繰越金	104,592円
募金合計	1,664,995円			配分合計	1,664,995円

令和6年度 地域歳末たすけあい募金 戸別募金一覧

(単位：円)

町名	金額	町名	金額	町名	金額	町名	金額	町名	金額
向少路	22,000	桜川自治会	13,000	平和町	22,500	第3太子ヶ丘	10,000	西	10,000
中大道	20,000	四季の街	10,000	北町	12,000	緑ヶ丘	12,500	佃	18,000
内之町	11,500	葉室	32,500	北仲町	9,500	陵西台	10,000	下之町	9,500
西之口	19,500	新屋敷	10,250	寿町	11,500	中山台	7,500	いわき台	75,000
昭和町	28,000	西仲町	18,000	赤坂町	11,500	聖和台連合会	150,000	畑	15,500
新昭和町	18,000	東町	13,500	栄町	10,000	大道路	30,000	若葉	8,500
伽山	21,500	上之町	19,000	太子ヶ丘	30,000	後屋	41,000	葵	6,500
太陽ヶ丘	27,500	分田町	9,000	磯長台	40,650	東條	27,000		
太井川町	15,000	旭町	10,500	春日丘	8,000	永田	36,000		

令和6年度 地域歳末たすけあい募金 篤志募金一覧

(単位：円)

篤志家芳名	募金額	篤志家芳名	募金額	篤志家芳名	募金額
浅野 恵子	5,000	澤田 清	5,000	松井 史郎	10,000
浅野 宏幸	5,000	小路 裕紀	10,000	村山 美佐子	5,000
新家 緑	5,000	関本 史子	5,000	(有) 粉山	10,000
池田 美智子	5,000	(有) 太子運送	10,000	安川 陽子	5,000
石垣 正之	10,000	太子薬局 川村 洋子	5,000	山内 嘉代	5,000
石倉 正勝	5,000	田代 祝子	5,000	山之内 ルミ	5,000
石谷 淳二	10,000	立岡 千賀	5,000	山村 一彦	10,000
伊藤 勝美	10,000	立石 友紀	5,000	吉田 多美子	5,000
伊庭 登美子	5,000	田中 一勲	10,000	吉田 弘子	5,000
(有)好月堂 岩田 誠	5,000	田中 美佐江	5,000	吉田 美智子	5,000
岩田 順子	5,000	田中 美幸	5,000	林 光寺	10,000
植木 道代	5,000	田中 義一	5,000	森 義昌	5,000
植木 律子	5,000	辻宅 一博	5,000	ボランティアグループ あじさい会	5,000
上田 克治	5,000	辻本 佐和子	5,000	ボランティアグループ さくらクラブ	5,000
上田 長一	10,000	つついクリニック	10,000	ボランティアグループ スマスマ	5,000
上野 光榮	10,000	椿元 成佳	5,000	ボランティアグループ ビタミン	5,000
上野 正和	5,000	椿元 千秋	5,000	ボランティアグループ ふきのとう	5,000
内田 勝久	10,000	土井 武久	20,000	ボランティアグループ ポテサラクラブ	5,000
岡本 彰司	5,000	仲谷 佐多子	5,000	太子ロータリークラブ	45,268
奥田 隆	5,000	匿名	1,000	JA 大阪南 太子支店	20,000
春日 薬局	5,000	羽田 妙子	5,000	社会福祉施設連絡会職員一同	17,489
金谷 和美	10,000	樋口 邦子	5,000	役場 職員一同	69,142
株式会社 であい	5,000	福島 悦子	5,000	社協 職員一同	5,608
川西 佳子	5,000	藤田 栄子	5,000	一般社団法人 富田林医師会	30,000
川村 文月	5,000	藤田 博誠	5,000	大阪東部ヤクルト販売(株)	30,000
岸本 宏子	5,000	増田 範子	5,000	一般社団法人 太子町観光協会	1,454
北山 信行	5,000	増田 英昌	10,000	町内募金箱合計	13,634
西方 院	10,000	松井 育子	5,000		
阪上 久子	5,000	(有)松田紙工業 松田浩一	10,000		
阪本 喜久夫	5,000	松の木保育園	5,000		

順不同・敬称略

※募金箱設置協力先(順不同・敬称略)

太子町役場 福祉介護課・生涯学習センター 太子の森・JA 大阪南太子支店・JA 大阪南営農経済センター・JA 大阪南営農経済部営農指導課・太子町竹内街道交流館・磯長郵便局・道の駅 近つ飛鳥の里 太子・太子町立総合福祉センター

**ご長寿
お祝い事業の
お知らせ**

太子町社会福祉協議会では、太子町に居住され、町会・自治会に加入（5年以上継続して加入）されている満90歳のお誕生日を迎えられた方に、ご長寿をお祝いしてお祝金（10,000円）を、また、満100歳のお誕生日を迎えられた方にはお祝金（30,000円）をお贈りしています。該当される方は、太子町社会福祉協議会事務局

（☎98-1311）までお知らせください。

※お祝金の申請期限は、お誕生日を迎えられたから1年以内とさせていただきますのでご注意ください。





手をつなぐ親の会 管外研修

10月26日(土)手をつなぐ親の会で日帰り旅行に総勢35名で行って来ました。午前中は製鉄・発電・エネルギー・環境をテーマに遊びながら科学に対する好奇心を育む場として(株)神戸製鋼所さんが地域交流施設として設立した施設で今年の1月にリニューアルされた灘浜サイエンススクエアへ行ってきました。午後からは神戸市立須磨海浜水族館の跡地に開業した須磨シーワールドに行ってきました。

アザラシやイルカ、たくさんの海の生き物たちに、なんといっても西日本で唯一会えるシャチのパフォーマンスショーでの大ジャンプは座席が揺れるほどダイナミックで迫力満点でした。たくさん歩いて遊び疲れましたが記憶に残る楽しい1日になったことと思います。



手をつなぐ親の会 クリスマス会

12月1日(日)手をつなぐ親の会のクリスマス会を開催しました。みんなでフライドチキンをパンズに挟んでハンバーガーにして食べたあと、ドーナツやワッフルなどの好きなお菓子やフルーツをトッピングして自分で作るクリスマスパフェづくりを楽しみました。お昼からは町内の演奏グループ“み～ちゃんず”さんによるクリスマスソングや子ども向けの曲(さんぽや勇気100%)、絵本ぐりとぐらの読み聞かせに子どもたちは夢中になって聞き、会場は明るい声が響き渡りました♪

またサンタクロースと一緒にたいしくんも登場し、プレゼントを受け取った子どもたちは大喜びで最後はみんなでビンゴゲームをして記念写真を撮って解散となりました。「家では見られない子どもの喜ぶ姿を見て嬉しかった」と、親も子どもも楽しいひとときを過ごしました。ご支援・ご協力頂きましたみなさまには感謝お礼申し上げます。



もち米寄付

住民さんから約120キロのもち米の寄付をいただきました。いただいたもち米は町内の社会福祉施設と交流サロン、福祉センターの給食ボランティアグループに配分させていただきました。年末恒例のお餅つきや、赤飯の提供など、それぞれの施設や会場で活用していただき利用者や参加者の皆さんに喜んでいただきました。ご寄付いただき、誠にありがとうございました。



『S A S A E 愛 太子』が開催されました

『S A S A E 愛 太子』は、住民さんと行政・社協などが、地域の支え合いの仕組みづくりについて、町全体で考えていくべきことを整理し、住民さんが活動しやすい仕組み・制度を考えていく話し合いの場です。

12月20日(金)、今年度第2回目の協議体『S A S A E 愛 太子』が開催されました。今年度、平成29年度からの協議体の取り組みを客観的なデータで振り返るというモデル事業に参加し、その結果、『S A S A E 愛 太子』の取り組みの成果が数字として表れていたことを参加者の皆さんと共有させていただきました。また、これまで

町内で助け合いの活動に取り組まれている皆さんの困りごとについて意見交換を行い、次回の協議体で話し合うテーマについて、参加者の皆さんからたくさんのご意見をいただきました。



身体障害者福祉協議会の日帰り研修

11月7日(木)、身体障害者福祉協議会の日帰り研修が行われました。

午前中は、堺市美原区の総合防災センターでの研修で、災害時の悪路を再現した道の移動を体験したり、避難所生活に使われる備品の説明を受けたり、災害用の備蓄品が保管されてある巨大な倉庫の見学もさせていただきました。午後からは、奈良県明日香村にある万葉文化館の見学や、道の駅でお買い物を楽しんで太子町へ戻られました。



ふれあいスポーツ大会

令和6年11月17日(日)に太子町障がい者ふれあいスポーツ大会が開催され、太子町内の障がい者児福祉施設(四天王寺太子学園、科長の郷、つばき作業所、チャレンジドハウス)、福祉団体(身体障害者福祉協議会、手をつなぐ親の会)より、100名近くの参加となりました!

今年度は紅チーム(四天王寺太子学園、科長の郷、つばき作業所)、白チーム(身体障害者福祉協議会、手をつなぐ親の会、チャレンジドハウス)の、紅白2チームに分かれての競技となりました!

スポーツ大会の内容としては、大人気のたいしくんが見守る中、「たいしくん元気体操」での準備運動から始まり、大人から子どもまで楽しめるように工夫した競技をしながら参加したみなさん全員で身体を動かしまし



た。プログラムは全4種目。二人で協力して行うボール運びや新競技の簡単ボッチャ、絵柄と同じものを見つけるお買い物競争、チーム対抗玉入れなど皆さん楽しめました!特にボッチャはパリパラリンピックで日本チームが活躍したことも

あってか、ご存じの方も多く、「もっとやりたい!」という声も上がるほどの人気でした。

最後の種目の玉入れが終わるまで接戦!紅組白組とも白熱しましたが、最終的には紅組が優勝して今年度のふれあいスポーツ大会は終了しました。

参加者同士の所属・属性を越えたつながりが生まれ、また職員同士の交流も深められた素敵なスポーツ大会でした!



手をつなぐ親の会に太子ロータリークラブから寄付をいただきました!

12月1日(日)手をつなぐ親の会のクリスマス会開催時に太子ロータリークラブ様より手をつなぐ親の会にご寄付を頂戴しました。会の運営が厳しい状況が続いておりましたが温かいご寄付により季節行事や日帰りの旅行を開催することができました。

障がいのある子どもたちが学校や家庭以外にも地域で自分らしく楽しく過ごせる場があること、大人も家庭や職場以外にも心身くつろげる居場所(サードプレイス)があることでコミュニティが広がり、子育てだけでなく困りごとを相談したり、助け合ったりできる環境の大切さを感じています。去年に引き続き、太子ロータリークラブの皆さまには本当に感謝お礼申し上げます。ありがとうございました。



太子町社会福祉施設連絡会・ケアマネ連絡会合同研修を実施しました

令和6年11月20日(水)に太子町社会福祉施設連絡会とケアマネ連絡会合同研修会を開催しました。令和6年1月1日に発生した能登半島地震や9月の能登半島豪雨災害により、住民だけでなく社会福祉施設を含む様々な福祉サービス事業者も被災し、運営が厳しくなることによって被災者であるサービスの利用者の生活がさらに大変になってしまっています。介護保険や障がい福祉サービスを提供する事業者には災害時でも継続的にサービスを提供するための計画を策定することが決められていますが、今回の研修で計画の見直しの重要性や普段からの事業所間の連携の取り方などについて考える機会となりました。講師には大阪北部地震で被災した茨木市社会福祉協議会の元職員であり、現在も被災地で活躍されている北大阪社会福祉士事務所の佐村河内力氏をお招きし、実態に則した内容での研修となりました。研修終了後もいくつかの事業所の方が熱心に講師に質問するなど、内容の深い研修会になりました。



太子・葉室地区福祉委員会管外研修

10月22日(火)太子・葉室地区福祉委員会管外研修が開催されました。

今年度の研修先は、京都市南区にある「京都市市民防災センター」で、台風などによる強風体験、火災の際の消火訓練・避難訓練、地震の際の初動を学ぶ地震体験、3D映像を使った土砂災害や地下街での浸水被害についての映像体験など、様々な体験することができました。特に異常気象による大雨被害や、全国各地で頻発する地震災害へ備えるための知識を学ぶことができ、有意義な研修となりました。

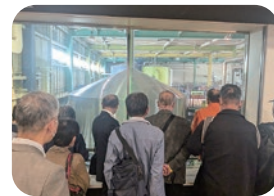
午後からは、「京都鉄道博物館」を見学し、実際に過去に使われていた車両や昔の駅の風景、現在でも動いている蒸気機関車など、昔を懐かしみながら鉄道に関する貴重な資料を見学することができました。



春日・聖和台地区福祉委員会管外研修

11月13日(水)春日・聖和台地区福祉委員会管外研修が開催されました。

午前中は株式会社モリタへ訪問し、消防車両の製造工程を見学しました。使用される地域によってカスタマイズされていて、全てオーダーメイドで製造されているのことに驚きました。また最近の水害で問題となっているトイレについてもトイレカーを紹介して頂いたり、水害時に誰でも簡単に設置できる止水板も紹介して頂く等、企業による防災製品開発の視点を学ぶことが出来ました。午後からは麒麟ビール三田工場への見学を行いました。最新の技術を使った製造工程を見学し、ビール製造における自動化や省エネルギーを進めることで、廃棄物の削減や水資源のリサイクルなどの取り組みが行われているなど、環境への配慮もなされていました。



山田・畑地区福祉委員会管外研修

11月12日(火)山田・畑地区福祉委員会の管外研修が開催されました。午前中は防災科学技術研究所兵庫耐震工学研究センターを見学しました。今年で30年目を迎える阪神淡路大震災ですが鉄筋コンクリートで造られたビルも壊れたり倒壊したりして未曾有の被害を被り、今までの構造物の耐震性の評価を見直す必要が認識され、研究に向けて実大三次元震動破壊実験施設(名称:Eーディフェンス)が建設されました。将来発生するかもしれない大地震に日々研究を重ねられていることに関心を持ちつ

つ、自然災害は防ぐことができない為、一人一人の防災意識を高めることが被害軽減(減災)に繋がるのだと再確認しました。午後からはヤクルト三田工場へ1時間半の工場ツアーを見学しました。乳酸菌シロタ株の働きを学んだり、最新の生産ラインや検査装置、品質管理体制などを楽しみながら学び、とても充実した研修となりました。



春日・聖和台地区ふれあいひろば & 防災訓練

11月3日(日・祝)に磯長小学校体育館、青少年グラウンドで春日地区・聖和台地区ふれあいひろばが開催されました。令和6年度は例年の松の木保育園から場所を移しての開催となり、さらに春日消防分団、太子消防分団による防災訓練も同時開催でした。

前日は大雨が降りましたが、当日は天気も良く、福祉委員さんによる様々な模擬店へ、たくさんの住民さんに来ていただき大賑わいとなりました。

模擬店の1つとしてフリーマーケットを開催し、売上金については令和6年能登半島地震災害義援金として寄付させていただきました。出品していただいた福祉委員の皆様、購入された皆様、ご協力ありがとうございました。

模擬店を通して年代を越えた交流もたくさんあり、笑顔溢れるふれあいひろばとなりました!



太子・葉室地区ふれあい広場

11月16日(土)、太子集会所にて『太子・葉室地区ふれあい広場』が、今年も域の皆さんのふれあいと交流を目的に開催されました。

スーパーボールすくい、あてもの、フランクフルトなど、たくさんの福祉委員さんの模擬店が出店され、開店から多くの地域の小学生や小さな子ども連れが来場され、福祉委員の皆さんと地域の方々と、福祉委員の皆さん同士の『ふれあい』が広がった一日となりました。

ご協力いただきました福祉委員の皆さま、消防団や和光会の皆さま、ありがとうございました。



山田・畑地区合同防災訓練

12月1日(日)山田・畑地区合同防災訓練が開催されました。山田地区の消防団の方々より災害時に迅速に消火が出来るようポンプ操作方法やホースを連結して水を出すまでの一連の流れを練習する訓練をしました。また、婦人会による炊き出し体験であたたかい豚汁のふるまいのほか、家庭や地域で用意できる防災備品、災害時に備えたローリングストックの展示などもあり、地域で防災意識を高めました。災害が起こらないことが1番ですが災害はいつでもどこで発生するか分からない為、平常時から備えておくことの重要性を改めて再確認しました。



災害支援ボランティア登録にご協力ください

昨今の自然災害は、いつどこでどんな規模で発生するか予想がつきにくく、“想定外”の規模も珍しくありません。太子町社会福祉協議会では、過去のさまざまな災害を教訓に、平常時から災害支援ボランティア登録を実施し、災害発生時にはできるだけ早期に活動を開始できる体制づくりを進めています。

ボランティア登録していただいている方に対し、太子町内での活動はもとより、町外、府外の災害情報や、ボランティアバス・ボランティアワゴンを運行する際の情報を発信し、スピーディーに災害支援ボランティアを集結し被災地支援活動を行っていきたくと考えています。ぜひ災害支援ボランティアへの登録をお願いいたします。

◆登録方法 所定の登録用紙に必要事項を記入のうえ太子町社協まで提出してください。

◆お問い合わせ 太子町社会福祉協議会 (TEL: 98-1311・FAX: 98-2111)

夜間のウォーキングに“反射タスキ”をお役立てください！ ～ 安心・安全ウォーキング事業(反射タスキ配布(無償貸与)事業)～

太子町社会福祉協議会では、日頃より健康のために町内をウォーキングされている方々に“反射タスキ”を配布(無償貸与)し、着用していただくことにより、自身の交通安全と健康に役立てていただき、さらには安全で住みよい地域づくりを確立するための地域の自主的な防犯活動につながっていくことを目的に、安心・安全ウォーキング事業を実施しています。

《配布対象者》

太子町に居住されていて事業の趣旨に賛同し継続的に活動していただける方。

※貸出申込書の提出をお願いします。(但し、活動を中止したときはタスキを返却していただきます。)

《その他》

申込者が未成年の場合は、保護者の同意を必要とします。



詳しいことは、太子町社会福祉協議会事務局
(☎98-1311) までお問い合わせください。

令和6年度ボランティア体験プログラムも大好評でした!!



毎年7月～9月にかけてボランティア体験プログラムを実施しています。子どもから大人まで誰もが気軽にボランティア活動に参加できるきっかけづくりの為に様々なプログラムを用意しています。今年は配食ボランティア体験や高齢者ふれあいサロン、絵手紙体験に喫茶ボランティア体験、調理ボランティアさんとひんやりかき氷づくり、福祉センターまで足が不自由でバス停まで行けない方などに乗っていただけるたいしくん号に乗車し、昇降時の見守りボランティア体験、共同募金で使用する募金箱づくりを企画いたしました。子どもや学生、社会人など幅広い年代の方が参加し、普段なかなか踏み出せない体験を通じて、知識や経験が広がるだけでなく考え方の幅が増えたり、生きていくうえでのヒントなど何か得られたらボランティア担当者としても嬉しく思います。毎年実施していますのでぜひ来年もご参加お待ちしております。

登録ボランティア社会見学

10月8日(火)太子町社協に登録し、活動していただいているボランティアのみなさんを対象に社会見学へ行ってきました。午前中は日本の伝統食品である練製品を取り扱っているカネテツデリカフーズ「てっちゃん工房」へ行って、魚のすり身を使って竹輪と蒲鉾づくり体験をしました。店頭に並んでいるような形を作るには想像よりも難しく、苦戦しながらも出来上がったお味は美味でした。

お昼からはキューピー神戸工場へ行って、最初に映像でマヨネーズとドレッシングの製造工程を学び、その後は商品の生産や箱詰めなどの工場内を見学しました。野菜や卵の知識、キューピーグループのものづくりへの想いや会社と商品の歴史を楽しく学び、最後に彩りたっぷりのサラダ

を頂き、様々な味の種類の販売されているマヨネーズやドレッシングの試食をしました。“愛は食卓にある”のキャッチコピーは食事がただ食事する場所ではなく、人と人の絆を感じる愛ある場所であるといった意味に会社としてのあたたかい想いを感じました。



運転協力者講習会を行いました！

11月13日(水) 14日(木)の2日間、山田集会所にて、『令和6年度 運転協力者講習会』が開催され、6名の方が受講されました。

関西 STS 連絡会より講師をお招きし、1日目は、移動送迎サービスに関する法律について、活動に必要な心構えとマナーについて、2日目には、サービスを利用者の理解について、実際の車両を使っの乗降・運転実技、車イス操作の実技な

ど、盛りだくさんの内容でカリキュラムを終了しました。

また講座終了後には、町内で生活支援・移動支援に取り組まれている団体さんから実際の活動内容の説明もしていただきました。



スマホ講座 in お寺

令和6年10月21日は正泉寺、25日は西方院、29日は妙見寺の三か所のお寺でボランティアグループ「スマスマ」のみなさんと、スマホ講座を開催しました。お寺は歴史的には布教活動以外にも教育の拠点や人々が集まる場として機能していた時代もあり、スマホの勉強をするにはとても素晴らしい環境でした。講座形式と自由質問形式で開催することで、参加された方とスマスマのみなさんにとってよい勉強になりました。



令和6年度全国社会福祉協議会会長表彰

令和6年11月26日(火)、令和6年度全国社会福祉大会が開催され、太子町ボランティア連絡会会長 岩田 順子さんが全国社会福祉協議会会長表彰を受賞されました。長年のご功績に心より敬意を表し、お祝い申し上げますとともに今後の益々のご活躍を祈念いたします。



令和7年度 非常勤職員を募集します

太子町社会福祉協議会では、以下の職種の非常勤職員を募集します。職種、募集人員については下記のとおりです。詳しくは、太子町社会福祉協議会ホームページをご参照ください。

①	一般事務補助 (アルバイト)	2人	④	運転手 (嘱託職員)	1人
②	看護師 (アルバイト)	2人	⑤	地域力強化支援員 (嘱託職員)	1人
③	健康運動指導者 (アルバイト)	1人			



【申込書類】 履歴書（写真貼付）及び応募資格要件の証明書の写しご持参ください。

（厚生労働省履歴書様式例 <https://www.mhlw.go.jp/content/11654000/000769665.pdf>）

【採用方法】 受付終了後、書面審査、面接などにより任用を決定します。面接日時は別途連絡します。

【申込期間】 2月3日(月)～2月14日(金) 午前9時～午後5時30分
(土日、祝日は除く)

【申込場所】 太子町社会福祉協議会（町立総合福祉センター内）

【任用期間】 令和7年4月1日から令和8年3月31日

※勤務成績が良好な場合、更新あり。ただし、通算3年を限度とします。

【問い合わせ】 総合福祉センター内 太子町社会福祉協議会（電話：98-1311）までお問い合わせください。



社協ホームページへ
はこちらからアクセス
してください。

太子町生きがい人材センターでは、新規会員を募集しています!

太子町生きがい人材センターでは、定年を迎えた方々が、道路の草刈りや公園の清掃、個人宅の草刈りなどの作業を通じ、社会に貢献しながら、仲間づくりや生きがいづくりを目的に活動しています。

概ね60歳以上の健康な方であればどなたでも登録できます。

募集期間 新規会員は随時募集しています。

※令和7年4月から活動を希望される方は、3月21日(金)までに登録をお願いします。

申込方法 町立総合福祉センター内、太子町社会福祉協議会事務局までお越しください。

※所定の申込書に必要事項を記入していただきます。



心配ごと相談

・相談日
毎月10・25日
(但し、土曜日の場合前日)
(日曜日の場合翌日)

・相談員 民生委員児童委員・主任児童委員
社会福祉協議会職員
・相談時間 午後1時30分～3時
・場 所 太子町役場1階相談室

編集後記

“ふれあい”第128号をお届けします。

太子町社会福祉協議会に、福祉に関することでご意見がありましたら、どんなことでも結構です。

“皆様の声をお寄せ下さい” TEL 98-1311 FAX 98-2111

この広報紙の発行には赤い羽根共同募金配分金の一部を活用しています。